

科目名称	看護研究	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	中島 紀子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

この科目では看護における現象を探求するための看護研究の基礎を学習する。また、看護現象を客観的に捉え問題を科学的に探求する能力を養う。研究課題に関しては文献を検索、整理・分析し、既に明らかになっていること、あるいはまだ研究されていないことを明確にする。さらに、研究疑問を明確化し、研究計画書を作成する技術を身につける。

【2】 学習目標

1. 看護研究の目的や必要性及び意義を理解できる。
2. 看護研究で得た結果を看護実践にどう役立てるのかを学ぶことができる。
3. 研究テーマの絞り込みのプロセスを理解でき、主な方法論のアプローチが理解できる。
4. 質的研究のアプローチ、研究デザイン、研究方法について概要を説明することができる。
5. 量的研究のアプローチ、研究デザイン、研究方法について概要を説明することができる。
6. 文献を検索、整理、分析することができる。
7. 研究論文のクリティークの意義を理解し実践することができる。
8. 看護研究全体の流れを理解し説明することができる。
9. 看護研究における倫理的配慮について理解することができる。
10. グループでひとつの研究テーマを選定し、研究計画書を作成することができる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護研究概論	講義
2	リサーチクエスション	講義
3	文献検索	講義・演習
4	研究倫理	講義・演習
5	研究デザイン	講義
6	量的研究	講義
7	データの収集と分析	講義
8	KJ法	演習
9	質問紙	講義・演習
10	事例研究・文献の読み方	講義・演習
11	研究計画書の書き方	講義
12	研究計画書作成(1)	演習
13	研究計画書作成(2)	演習
14	研究計画書発表	演習
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験で評価する。

【6】 教科書

坂下玲子:系統看護学講座 別巻 看護研究(第2版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

講義内で資料配布

【8】 受講生へのメッセージ

講義内で配布した資料を復習し、専門用語等理解できなかったところや疑問点を明確にして次の講義にのぞんでください。